

令和 5 年度事業報告

(自 2023 年 4 月 1 日 至 2024 年 3 月 31 日)

公益財団法人内子町国際交流協会

<基本方針>

内子町国際交流協会は、国際的な視野と実践力を備えた人材を育成し、もって活力ある地域社会の形成に寄与することを使命として、20 年以上にわたり活動を続けてきた。今年度も事業の柱である「青少年海外派遣事業」をはじめ、以下に記す事業を効果的に実施する。

I 交流促進事業

1 意識啓発・情報発信事業

(1) 機関紙「ゆうていあ」の発行

協会が実施する各種交流事業の紹介や活動状況を町民に P R し、国際交流・国際理解に対する認識を高めるための記事を内子町の広報紙「広報うちこ」へ掲載した。

発行時期：毎月 1 回（12 回）

規 格：広報うちこ（A4 版）

(2) ウェブサイト運営

インターネットにより、国際交流等に関する情報を収集するとともに、ホームページや Facebook を通して当協会の活動を広く国内外に発信した。

(<http://utia.jp>)

(3) 先進地視察研修

持続可能な協会づくりのため、先進的な活動事例を学ぶとともに、各種団体との交流とネットワークの形成を図った。

2 各種講座運営事業

(1) 国際理解講座

町民を対象に、在住外国人や海外在住経験のある日本人等を講師に迎え、海外の文化や習慣についてわかりやすく紹介し、町民の異文化理解の機会となる講座を実施した。

- ・ アレクサンダーさんの国際理解講座

開催日時：6 月 16 日（金）午後 7 時～9 時

開催場所：内子自治センター

参加人数：29 名

内 容：キプロスの家庭料理についての紹介と調理

- ・ ディロンさんの国際理解講座

開催日時：10 月 6 日（金）午後 7 時～9 時

開催場所：内子自治センター

参加人数：27 名

内 容：ペイガンの精神文化についての紹介とお守り作り

- ・ ジェニファーさんの国際理解講座
 開催日時：12月16日（土）午後1時30分～3時30分
 開催場所：内子自治センター
 参加人数：14名
 内 容：小学校5・6年生と中学生を対象に、ドイツのクリスマスシーズンの過ごし方やローテンブルク市のクリスマスマーケットの紹介とゲーム
- ・ パトリシアさんの国際理解講座
 開催日時：1月26日（金）午後7時～9時
 開催場所：内子自治センター
 参加人数：17名
 内 容：トリニダード・トバゴのカーニバルやその文化についての紹介とヘッドピース作り

(2) 外国語講座

ア 高校生以上を対象に、英語3講座、ドイツ語2講座を開講した。

<英語>

- ・ 「英語の世界へようこそ」
 内容：英語を基本からもう一度学びたい人向けの講座。 受講者数：6名
- ・ 「英語で伝えましょう」
 内容：中学校で習った英語で、身近なことを表現する。 受講者数：14名
- ・ 「Let's talk about the world.」
 内容：世界のさまざまな話題について英語で話す。 受講者数：11名

<ドイツ語>

- ・ 「Guten Tag!からはじめるドイツ語」
 内容：初めてドイツ語を学ぶ人向けの講座。 受講者数：7名
- ・ 「もっと!ドイツ語を学びましょう」
 内容：初級文法を一通り学習した人向けの講座。 受講者数：3名

イ 小学生（1年生～6年生）を対象に、「英語であそぼう!」を開講した。

ハロウィンや秋の自然をテーマにしたゲームや工作などを通して英語に親しむとともに、海外の文化や習慣を学ぶ機会をつくった。

第1回講座 10月21日 受講者数：10名

第2回講座 11月18日 受講者数：7名

(3) 英語絵本多読プロジェクト

英語絵本を町内中学校の図書室に設置し、絵本を通して生徒が気軽により多くの英語に触れ親しめる機会を提供している。

3 交流イベント・体験事業

(1) 国際交流ボランティア活動の推進事業

地域の国際交流の担い手・人材を養成し、活躍の場を広げるための事業を行った。主に以下の事業を実施した。

ア ホストファミリー養成・登録

海外からの訪問者、留学生などのホームステイを受け入れることで、異文化理解の促進や「おもてなし」の心の育成を図る。

イ イベント等ボランティアの登録

① 翻訳・通訳ボランティア ② イベントボランティア ③ 文化ボランティアの登録を推進し、活躍の機会を提供することで、町民の国際交流に対する意識啓発を図る。

ウ 在住外国人支援のための「日本語広場（日本語講師養成）」

日本語学習を希望する在住外国人を対象に開講している、ボランティア日本語講師による「日本語広場」の運営をサポートした。

日時：毎週土曜日午前 10 時～11 時 30 分（令和 5 年度は 23 回実施）

場所：内子自治センター

受講者数：6 名

エ 海外派遣事業 OB 会の運営事業（ビッグハンズ）

青少年海外派遣事業への参加経験を生かし、協会の活動や内子町のまちづくりに参画してもらうことを目的に、OB 会（ビッグハンズ）への登録、各種の国際交流イベント参加などつながりを大切に交流活動を推進した。また、協会設立 30 周年記念事業の一環として令和 6 年度実施予定の「内子町青少年海外派遣団交流会」に向けて、ビッグハンズメンバーによる部会を 2 回開催した。

(2) 「国際交流の集い」事業

子どもから大人までが楽しみながら異文化に触れ、国際理解を深めることを目的に、以下の事業を実施した。

ア 内子町子どもフェスティバル出展

プランナーや国際交流員（CIR）、外国語指導助手（ALT）合わせて 10 名で、フェイスペインティングを実施した。

イ 国際交流イベント開催

プランナーや CIR、ALT の企画により、町民と在住外国人が気軽に異文化に触れる交流イベントを開催した。

- ・ いかざき大凧合戦に、プランナーや町民、ALT、技能実習生を始めとする町内外の外国人合わせて 24 名が「内子町国際交流協会チーム」として参加し、オリジナルの大凧で協会の PR を行うとともに、参加者との交流を図った。
- ・ ドイツフェスタ開催協力
プランナーや町民、青少年海外派遣 OB・OG、CIR、ALT 合わせて 22 名がステージでの出し物や出展ブースへの参加を行った。
- ・ うちこ夏まつりにブースを出展し、プランナー、ALT の 6 名がドイツの焼き菓子や飲み物の販売を行った。
- ・ 小田の郷ふるさとまつりにブースを出展し、プランナーや CIR、ALT の 6 名がフェイスペインティングや協会の活動紹介を行った。

ウ ALT 交流会主催

普段教育現場を中心に活動している ALT と一般町民が触れ合う場として、交流会を開催した。町民が ALT との交流を深めるとともに、ALT が内子町の文化に触れる場を提供した。

- ・ ALT (アレクサンダー・ダイヤモンドさん) フェアウェルパーティー
7月21日(金) 内子自治センター 多目的ホール 参加者 57名
- ・ ALT (パトリック・ブラウンさん) ウェルカムパーティー
8月22日(水) 内子自治センター 多目的ホール 参加者 46名
- ・ 第17回内子町駅伝競走大会参加
ALT、CIR と町民有志で「内子町国際交流協会チーム」として駅伝大会に参加し、協会のPRを行うとともに、駅伝参加者との交流を図った。
1月21日(日) 選手7名、監督1名

(3) ホームステイ受け入れ事業

ドイツ・ローテンブルク市からの訪問団や県内在住留学生をはじめとするホームステイ受け入れ要請に対し、ホストファミリーの紹介や交流イベントなどの事業を行う。

令和5年度は受け入れなし。

4 翻訳・通訳事業

行政の観光担当課における各国語パンフレット作成や公用文書等の翻訳、姉妹都市交流行事等における通訳などの言語サポートを行った。

- ・ 広報うちこに毎月掲載の Hello のページの原稿翻訳、ALT の病院受診などの生活支援の際の通訳などを行った。
- ・ 9月8日・9月15日・9月25日に内子小学校6年の英語授業に、2月15日に同校5年の英語授業に、ALT や CIR、プランナーがゲストティーチャーとして参加し、言語サポートを行った。

5 内子町中学校英語弁論大会実施事業

内子町教育委員会学校教育課と連携し、町内中学生を対象に英語弁論大会を開催し、大会運営の協力を行った。

9月26日(火) 内子座 町内中学生約120名参加

II 助成事業

1 青少年海外派遣事業

中学・高校生を対象に姉妹都市であるドイツ・ローテンブルク市で研修を行うための費用として、渡航費等経費の1/3以内を助成するとともに、青少年海外派遣事業利子補給金制度も実施する。ローテンブルク市の協力の下、現地でホームステイし、ローテンブルク市の町並保存や環境保護、教育制度などを学習する。

令和5年度は実施なし。

2 ローテンブルク市等との文化交流助成事業

ドイツ・ローテンブルク市との姉妹都市盟約締結を機に新設した制度で、工芸や伝統芸能など内子町の文化の担い手がローテンブルク市等において交流するための費用の一部（1/2 以内、一人 15 万円を上限とする）を助成する。

令和 5 年度は申請なし。

3 町民の海外研修助成事業

町民が海外で研修活動を行うための費用の一部（1/2 以内、一人 10 万円を上限とする）を助成する。

令和 5 年度は申請なし。

4 町民の国際交流に関する主体的な取り組みに対する助成事業

町内の国際理解や国際交流に関する主体的な取り組みに対し、その活動に要する費用の一部（1/2 以内、1 事業 5 万円を上限とする）を助成する。

令和 5 年度は申請なし。

III 法人管理

1 寄付金

(1) 寄付の依頼

協会の運営および諸活動に対し、町内各企業、団体および町民に寄付の依頼を行った。

令和 5 年度 寄付件数 2 件 寄付金収入 303,000 円

(2) 賛助会への加入促進

協会の活動に賛同する個人および団体による賛助会員制度を平成 28 年度に創設した。パンフレット、広報、ホームページ、Facebook 等の活用により、会員拡大に努めた。

令和 5 年度 賛助会員数 個人 75 件、法人 7 件 賛助会費収入 266,000 円

2 理事会・評議員会

日 月	会 議	主な議案	場 所
6 月 1 日	第 1 回理事会	事業報告・決算審議 定時評議員会の招集について	内子自治センター
6 月 20 日	定時評議員会	事業報告・決算審議 理事の選任について 評議員の選任について	内子自治センター
6 月 20 日	第 2 回理事会	代表理事・業務執行理事の選定について 特定資産運用管理委員会委員の選任について 海外研修補助事業審査会審査委員の選任について	内子自治センター

8月10日	第3回理事会	特定資産の新規運用銘柄の承認について	書面決議
1月18日	第4回理事会	特定資産の新規運用銘柄の承認について	書面決議
3月21日	第5回理事会	令和6年度特定資産運用の方針および計画案について 令和6年度事業計画案について 令和6年度収支予算案について	内子自治センター

3 特定資産運用管理委員会

日 月	会議内容	出席者	場 所
7月10日	特定資産の新規運用銘柄について	特定資産運用管理委員 5名	内子自治センター
7月25日	特定資産の新規運用銘柄について	理事長、特定資産運用管 理委員6名	内子自治センター
1月15日	特定資産の新規運用銘柄について	理事長、特定資産運用管 理委員5名	内子自治センター

4 研修会・会議への出席

- 6月23日 令和5年度第1回外国人生活支援ネットワーク会議
- 11月24日 令和5年度第2回外国人生活支援ネットワーク会議
- 2月29日 令和5年度地域国際交流担当者研修会

5 職員の状況について

職員1名雇用

6 役員の状況について

(1) 役員（理事・監事） 定数：理事3名以上15名以内、監事2名以内（定款第20条）

R6.3.31 現在

職	氏名	備考
理事長	小野植 正久	
副理事長	小野 尚久	
副理事長	横田 光敏	
専務理事	大森 希世	
理事	下野 安彦	
理事	山村 美佐子	
理事	大野 千景	
理事	池田 央	
理事	藤崎 靖博	
理事	城戸 英	
理事	武井 好子	
理事	篠崎 耕太郎	
理事	山岡 晋	
監事	井上 誠一	
監事	永見 雅之	

(2) 評議員 定数：3名以上25名以内（定款第9条）

R6.3.31 現在

林 純司	内子町教育委員会教育長
山内 大輔	元地域おこし協力隊
宮瀬 弘吉	内子町図書情報館長
山崎 文弘	五十崎郵便局長
梅野 政彦	伊予銀行内子支店長
大砂 弘樹	愛媛銀行内子支店長
和田 俊之	愛媛県立内子高等学校長
西本 晃	喜多郡小中学校校長会
水沼 俊作	内子町 PTA 連合会
城戸 博子	青少年海外派遣 OB 保護者
山本 勝美	内子手しごとの会会長
宮岡 淑子	元内子婦人会長
山口 佳一	(株)内子フレッシュパークからり社長
城戸 彰	元内子町教育委員
武田 隆幸	内子町国際交流協会設立準備プロジェクトメンバー

令和5年度附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書を作成しない。